



▲推進会議リーダーの小林裕幸・秋元運輸倉庫課長

3分の1が新メンバー。席上、滝沢代表は「1年間で1万件の物流案件を創

出したい」と挨拶した。

今回の新規物流案件としては、小売店の物流情報を紹介。関東に複数ある物流拠点を集約し、その配送をSCM共同ネット研究会の会員で対応する案件である。同会議では、配送を行う上での問題点や解決策、現状からの改善策などを検討した。

物販事業の現状報告も行われた。会員の中でバイヤーとのネットワークを持つ企業があり、小売店へのプライベート商品販売を提案。もちろん輸配送

はSCM共同ネット会員で対応する予定だ。

そのほか新規会員向けのSCM・e-cargoの説明では、セミナーの紹介や今回の営業実務者会議の告知などにも利用した実例を紹介し、物流案件以外にも利用できる利便性を強調した。

SCM共同ネット研究会では今後も会員企業それぞれの強みを生かし、物流企業の合従連衡による新たな物流の将来像を構築していく計画だ。

新刊

トヨタ式 カイゼンの会計学



田中正知 著
中経出版 発行
四六判288頁、
本体価格
1,500円(税別)

世の中には「まとめて作れば安くなる(量産効果)」という考え方が浸透しているが、一方で「小ロット多回生産(細かく作って在庫を持たない)」を徹底するトヨタ生産方式が高く評価され、矛盾している。

実際多くの会社では、営業は「まとめ売り」、購買は「まとめ買い」に努力しているが、本当に「まとめる」ことで儲かるのか? こうした「常識」に対し著者(ものづくり大学名誉教授、元トヨタ自動車生産管理調査部長)は、「そこには時間の概念が抜け落ちている」と警鐘を鳴らす。

「例えば1万個の製造ラインを100万個にまとめるとしたら、必要なのは1万個だけだから残りの99万個は在庫として眠り続ける。しかしこうした在庫は従来の管理会計論では損失として扱われない、本来は「お金を稼ぐべき

在庫が眠ること自体が損失」「人を減らすな、在庫を減らせ!」との指摘は鋭い。

本書はJIT理論の導入でその矛盾を解消する著者の全く新しい管理会計論「Jコスト論」を分かりやすくまとめた最新刊。物流・ロジスティクス改善にも大いに参考になる一書である。

新会社設立

▶去る7月1日、ロジスティクスファシリテーション(協働促進)事業推進を掲げ、「ロジ共働促進株式会社」が設立された。代表は前谷加奈氏(写真)で、この分野では極めて珍しい若手女性による起業事例として注目される。



同社の経営理念は「最終顧客の方々を常に意識し、サービスのご提供をする」。消費者のもとに商品が届くまで、生産から配送へとリレーのように各企業の工程を経ていく中で、各企業は「もっと付加価値をつけたい」「こんな事ができたら」と日々奮闘している。

同社ではそうした企業に対し、とくに商品ライフサイクルが短い食品等の多頻度小口配送における運用改善・現場改善・在庫削減等のサポート、教育・研修、マーケティング等研究・分

析などのサービス提供を目指す。

前谷代表は、「当社は流通・物流会社様、荷主・メーカー様の抱える問題改善に、定着までお付き合いさせていただき、次世代のビジネスパーソン、経営者の皆様と共に育っていく会社」「連携企業様・消費者の皆様よろず屋・お手伝い役として、現場主義を徹底し、今一番何をすべきかを常に意識しながら、会社を一緒に創り上げていきたい」と話している。

<ロジ共働促進の事業概要>

- ◆ロジスティクスファシリテーション(協働促進)事業
 - ・現場改善
 - ・業務改善(在庫見直し分析含む)
 - ・運用フロー構築及びサポート
 - ・流通システム構築サポート(システム選定/構築等)
 - ・中小企業サイト作成及び支援
- ◆ロジスティクス関連企業における各種能力開発コースの実施
- ◆業界動向、マーケティング分析及び研究
- ◆連絡先
 - 〒120-0021 東京都足立区日ノ出町25-6-321号
 - TEL.03-3879-2894 FAX.03-3879-2862
 - e-mail: info@logiky.co.jp
 - URL: http://www.logiky.co.jp/

MF